

(令和5年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 宇城広域連合 (都道府県: 熊本県)
本事業の担当部局名 事務局総務課企画財政係

事業メニュー		地域結婚支援重点推進事業				
区分		一般メニュー				
関連事業メニュー		1.1.2 結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー				
個別事業名		持続可能な婚活支援事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続		
実施期間		交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	平成23 年度	
対象経費支出予定額 ※(注)1		1,555,840			円	
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け ※(注)2		<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)</p> <p><地域における実情と課題> 令和2年(2020年)国勢調査における宇城地域(2市・1町)の人口は102,546人で、自然減と社会減が双方に進行したため、2000年の114,192人から約10%減少している。さらに、2019年の管内婚姻件数は411件、県内婚姻率は4.4と過去と比べて経年的に低下傾向である(参考:2000年婚姻件数570件、婚姻率5.5)。また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年には宇城地域の人口は82,000人程度となる見通しで、生産年齢人口の減少に加え、未婚率及び平均初婚年齢の上昇を背景とした少子化がその要因と考えられる。 当連合では、その現状に歯止めをかけるため、平成23年度に結婚活動支援センターを設立し、結婚活動支援相談委員10名を仲介役としたお見合いや婚活イベントなどの事業を展開しており、これまでに登録人数は累計881人、35組(登録会員間のみ)の成婚実績がある。 しかしながら、全国的に猛威をふるった新型コロナウイルスの影響により令和2年度から支援センターの閉所が長期間続き、会員の退会が増加している。結果的に出会いの第1歩であるお見合いのセッティングが困難となり、積極的に活動している会員にも影響を及ぼしている状況である。さらに、事業開始から10年が経過し、相談委員の高年齢化が進み、近年の婚活に対するニーズを反映することが難しくなっている。</p> <p><本個別事業の位置付け> R4年度から引き続き本個別事業は、メディアでも実績が取り扱われている講師のセミナーを受講した相談委員の支援を受けることができるという魅力を全面に押し出したPR強化により、登録者の増加に繋げていくものである。また、同講師に婚活イベント運営を委託し、セミナー受講後の相談委員にイベントでのフォローアップを実践してもらう。さらに、イベント参加時にカップル率が上がるよう、男女各1回ずつセミナーを開催する。また、イベント参加者だけでなく、登録者にもセミナー内容を相談委員からレクチャーできるよう、セミナー内容をテキスト化した「婚活ガイドブック」を作成することで、婚活支援センターの利用満足度向上に繋げる。</p> <p>(本個別事業における現状と課題) 当連合の結婚活動支援相談委員10名は、有償ボランティアの位置付けで一人当たり月に2~3回程度センターを開所し、婚活のサポートを行っている。退職後のシニア世代に業務を引き受けてもらうことが大半のため、相談委員の高年齢化が進行している。事業開始から10年を経過し、令和4年度に初めて相談委員を対象としたスキルアップ研修を実施した。これまで相談委員はKKO(勤・経験・思い込み)で業務に取り組んでいたため、近年の婚活に対するニーズを反映することが難しく、また、受講したスキルアップ研修の内容がうまくサポートに活かせていない現状がある。 また、「未だに成婚に繋がらず、登録者の平均年齢が年々上昇していること」や「イベントをきっかけとした登録者のセンター利用率が低く、お見合いの申込をしてもセッティングまでに至らない」などの課題もある。</p> <p>(課題への対応) ① 相談委員を対象に、宇城地域の現状や婚活サポートに関する知識・技能を習得するスキルアップセミナーを開催(令和4年度実施済み) ② 婚活イベントを委託し、①を受講した相談委員がフォローアップを実践する。(令和4年度から引き続き実施予定) ③ ①を受講した相談委員による支援強化で利用者の満足度向上を図る。 ④ ①を受講した相談委員の支援が受けられるという魅力をPRツールとして新規登録者数の増加に繋げる。 ⑤ 婚活ガイドブックを作成することにより、相談委員の支援能力の均等化と利用者の満足度向上に繋げる。</p>				
番号	項目	内容			ステップアップ	KPI設定
1	婚活セミナー(会員向け)	<ul style="list-style-type: none"> 荒木直美氏にセミナー講師を委託する。 婚活イベント参加者に、男女各1回ずつの魅力アップセミナーを受講してもらう。 令和4年度は新型コロナウイルスの影響でイベント当日にしか開催できなかったため、今年度はイベントと別日に開催し、服装や髪型についても事前にレクチャーすることにより、カップル成立数上昇に繋げる。 			○	○

個別事業の内容 ※(注)3	2	婚活イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・荒木直美氏に婚活イベント(1回)を委託し、相談委員がフォローアップを実践する。 ・令和4年度でのアンケート結果を反映させ、イベント時間や内容を修正し開催する。 ・令和4年度は、女性のキャンセルが多数あり、定員を下回る参加人数となった。そのため、事前の男女での参加年齢の調整ができず、ミスマッチが発生し、カップル数が伸びなかった。イベントの参加者はセンターへの登録が条件となっているため、イベントのみに参加したい方からのキャンセルが多くなったことが予想される。登録までのハードルを下げることで、イベント申込時点で登録を完了させることが課題となっている。 ・関係市町の魅力を発信できるよう、観光資源を活用してのイベント内容とする。 ・チラシ作成も併せて委託し、300枚程度を管内の商業施設等に配布する。 	○	○
	3	婚活ガイドブック作成	<ul style="list-style-type: none"> ・荒木直美氏の婚活メソッドをテキスト化した「婚活ガイドブック」を作成する。 ・セミナーやイベントの参加者だけでなく、婚活支援センターの利用者にもセミナーの内容をまとめたガイドブックを使い婚活支援をすることで、利用者の満足度向上に繋げる。 ・ガイドブックを活用することで、10名の相談委員の支援能力の均等化を目指し、利用者の満足度を向上させ、センターの利用回数増加に繋げる。 		○
	【次年度以降に向けた事業の方向性】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・相談委員を対象としたセミナーの成果を利用者アンケートに基づき検証し、必要に応じて足りない分野のスキルアップについて検討する。 				
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
	出会いから結婚までの支援を切れ目なく行い、令和8年度までに、下記の目標値に到達できるよう支援を行う。				
	・登録者数(平成23年度から累計)		人	1380	944
	・成婚数(平成23年度から累計)		組	50	35
参考指標 ※(注)5	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率(2017年)		%	宇土市(1.67) 宇城市(1.66) 美里町(1.55)	
	婚姻件数(2019年)		件	宇土市(155) 宇城市(232) 美里町(24)	
	婚姻率(2019年)		%	熊本県 4.4	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	・新規登録者数(年間)		人	100	60
	・来所人数(1日平均)		人	10	5
	・イベントで相談委員の支援を受けた者の満足度(満足と回答した割合)		%	100	80
	・イベント及びセミナー募集定員に対する参加者の割合		%	100	99
	・セミナー内容の満足度(満足と回答した割合)		%	100	97
	・婚活支援センターでの支援に対する満足度(満足と回答した割合)		%	80	未定
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	県及び関係市町(宇土市・宇城市・美里町)ホームページで婚活イベント・セミナー開催について掲載してもらい、他自治体との情報共有、周知に努める。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	民間事業者に研修を委託することで、行政にはない発想とノウハウを教授してもらう。実際に婚活業界で高い評価と実績を上げている婚活コーディネーターに講師を依頼することで、説得力のある研修を行い、また、同講師にイベント運営を委託することで、宇城地域外への発信力と新規登録者の獲得を目指す。				